

平成25年度9月補正予算のポイント

1 予算編成の考え方

景気を下支えする事前防災・減災等の公共事業を追加するとともに、昨年7月の豪雨災害に伴う被災箇所の早期復旧を図るための災害復旧費を増額する。

併せて、厳しい電力需給状況や電気料金の値上げ、燃油・飼料価格高騰などの喫緊の課題に対応するため、エネルギーの確保、省エネ・節電対策、農林水産業の低コスト生産体制転換対策等に要する経費を措置する。

2 補正予算の規模

(単位：百万円、%)

区 分	平成24年度9月 補正後予算 A	平成25年度			比 較 B/A
		現計予算	9月補正	計 B	
一 般 会 計	1,656,695	1,631,704	13,510	1,645,214	99.3
特 別 会 計	564,019	627,111	0	627,111	111.2
計	2,220,714	2,258,815	13,510	2,272,325	102.3

3 主な内容

(単位：百万円)

○ 事業費	10,657
(1) 景気・雇用対策	7,643
・ 公共事業費 (緊急輸送道路整備、河川護岸整備等)	4,953
・ 福岡市中央卸売市場整備費 (青果物取引のための卸売場、保管・積込所等の整備に対する助成)	2,574
・ 新 成長産業雇用創造事業費 (グリーンアジア国際戦略総合特区関連企業の人材育成・人材確保支援、新分野展開に取り組む企業への人材確保支援) [債務負担行為982]	116
(2) 災害復旧	1,093
・ 土木・林道災害復旧費 (平成24年災害の復旧事業の前倒し、工法変更等)	1,093
(3) エネルギーの確保、省エネ・節電対策	1,440
・ 新 防災拠点等再生可能エネルギー導入推進費 (市町村・民間の避難施設、県の防災拠点施設への太陽光発電設備、蓄電池の導入等) [債務負担行為60]	471
・ LED交通信号機整備費 (173基(827→1,000基)、H32完了を2年前倒し)	488
・ 道路照明省エネ改修費 (水銀灯1,533基(1,991→3,524基) H26完了を1年前倒し、ナリム灯100基(829→929基) H33完了を3年前倒し)	466
・ 県有施設省エネ改修費 (吉塚合同庁舎、クローバープラザ、県立図書館 H27完了を1年前倒し) [債務負担行為203]	15

(4) 農林水産業の低コスト生産体制転換対策	55
・ 活力ある高収益型園芸産地育成事業費 (施設園芸における省エネ設備(内張カーテン、多段式サーモ装置等)導入に対する助成)	30
・ 新 自給飼料利用拡大対策費 (畜産農家における輸入牧草から自給飼料への転換を図るための機械整備に対する助成)	11
・ 新 養豚生産性向上対策費 (種豚の飼料費削減のための人工授精の導入に対する助成)	4
・ 水産業振興対策費 (燃油削減効果の高い船底清掃等のための漁船巻揚施設整備に対する助成)	9
・ 漁業近代化資金利子補給費 (利子補給を実施している省エネ枠(省エネ型エンジンの整備等)の拡大) [債務負担行為10] [融資枠拡大: 8億円→10億円、貸付金利1.2%、利子補給率1.25%]	1
(5) その他	426
・ 地域医療再生事業費 (郡市区医師会が行う在宅医療推進事業やドクターヘリへの衛星電話の整備に対する助成等)	229
・ 私立幼稚園等設備費補助金 (私立幼稚園・認定こども園が実施する遊具等整備に対する助成)	128
・ 保育対策等促進費 (新 幼稚園の長時間預かり保育、3歳未満児保育等に対する助成)	47
・ 新 生活困窮者自立促進支援モデル事業費 (相談・訪問、個別支援計画の策定等)	16
・ 新 6次産業化支援強化費 (6次産業化を支援する総合窓口の設置)	6
○ 基金積立金	2,853
・ 環境保全基金積立金	1,900
・ 地域医療再生基金積立金	953

[一般会計の財源内訳]

(単位: 百万円)

項目	予算額	特定財源			一般財源
		国庫	県債	その他	
景気・雇用対策	7,643	5,701	505	1,004	433
災害復旧	1,093	550	77		466
エネルギーの確保、省エネ・節電対策	1,440		878	464	98
農林水産業の低コスト生産体制転換対策	55				55
その他	426	22		404	
基金積立金	2,853	2,853			
合計	13,510	9,126	1,460	1,872	1,052

※特定財源の「その他」は繰入金及び諸収入。